

PAI 原子力産業セミナー2021 報告

2020年4月14日
(一社)日本原子力産業協会

原産協会は関西原子力懇談会と共催で、原子力産業界の人材確保支援と原子力産業への理解促進のため、合同企業説明会「PAI 原子力産業セミナー2021」を、2月1日(土)に東京・新宿、2月16日(日)に大阪・梅田で開催した。来場学生数は震災以来、減少傾向で、今回、東京と大阪会場に来場した学生は255人(東京140人、大阪115人)で、昨年度より84人減(-25%)となった。原因は高専各校が試験中で参加できなかったこと(-43名)、新型コロナウイルスの影響、就活の早期化・多様化等が考えられる。

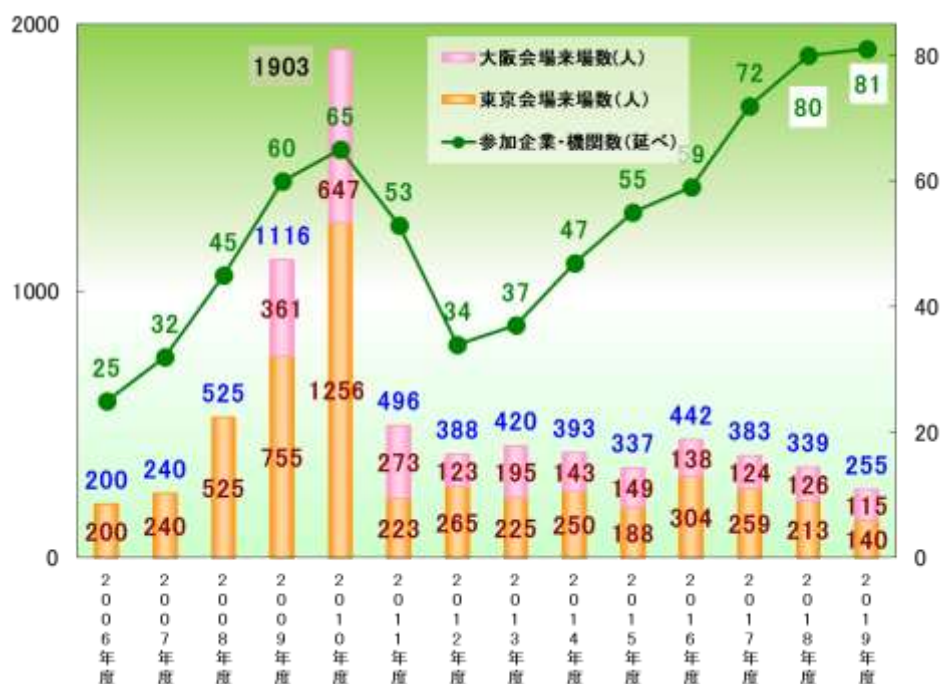
一方、出展企業・機関数は東京・大阪合わせて81社、昨年より1社増で同セミナー開始の2006年度以降最多となり、原子力産業界の人材採用への強いニーズが伺える。

1. 概要

()内の数字は昨年度

	東京会場	大阪会場	
開催日	2020年2月1日(土)	2020年2月16日(日)	
開催場所	ベルサール新宿セントラルパーク	梅田スカイビルステラホール	合計
来場学生数	140人(213人)	115人(126人)	255人(339人)
参加企業・機関数	45社(46社)	36社(34社)	81社(80社)

原子力産業セミナーの来場学生数および参加企業・機関数の推移



2. 参加企業・機関一覧 (* : 初参加)

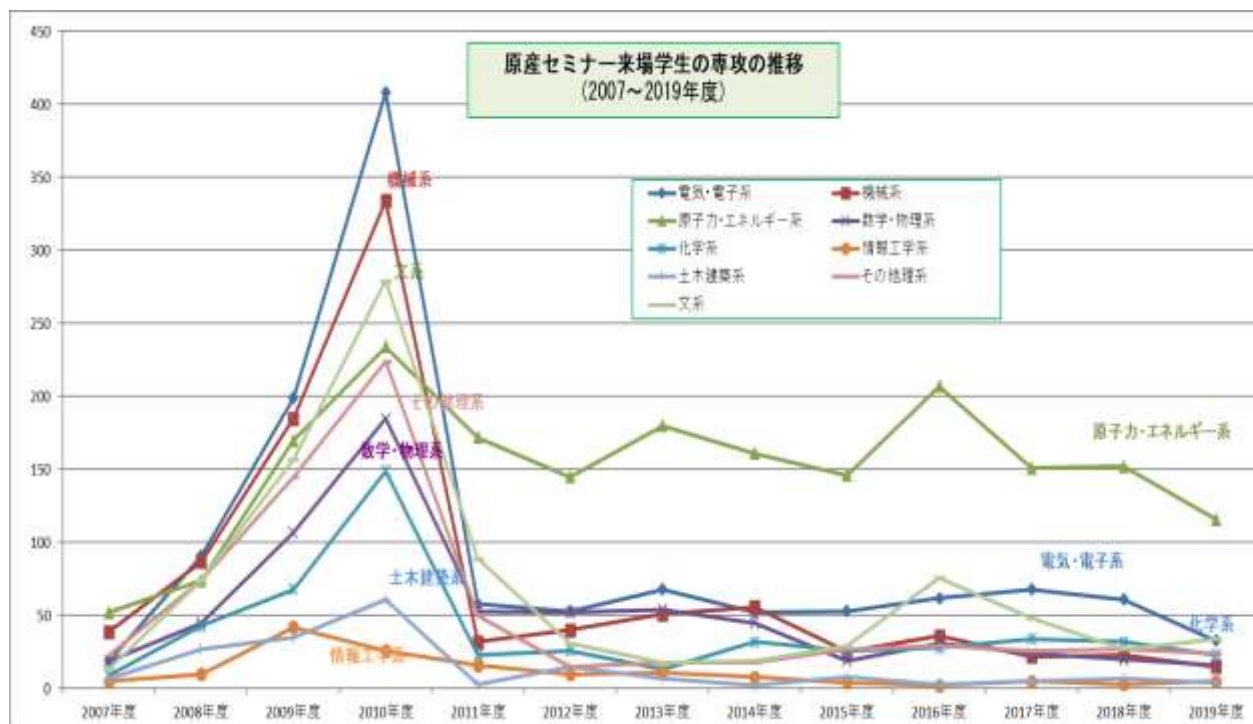
出展企業 (*は初出展の企業・団体)		東京	大阪
電力関連企業			
1	北海道電力(株)	○	
2	東京電力ホールディングス(株)	○	○
3	中部電力(株)	○	○
4	北陸電力(株)	○	○
5	関西電力(株)	○	○
6	四国電力(株)		○
7	J-POWER(電源開発(株))	○	
8	日本原子力発電(株)	○	○
9	日本原燃(株)	○	○
10	東京パワーテクノロジー(株)	○	
11	東電設計(株)	○	
12	(株)テプコシステムズ	○	○
13	原電エンジニアリング(株)	○	○
14	原燃輸送(株)	○	
15	(株)関電パワーテック*		○
16	関電プラント(株)	○	○
重電メーカー			
17	三菱重工業(株)	○	○
18	(株)日立製作所	○	○
19	東芝エネルギーシステムズ(株)	○	○
20	富士電機(株)	○	○
プラント・エンジニアリング企業等			
21	(株)アトックス	○	○
22	MHI NSエンジニアリング(株)	○	
23	(株)オー・シー・エル		○
24	(株)ケーイーシー	○	○
25	原子燃料工業(株)		○
26	(株)クリハラント		○
27	(株)原子力エンジニアリング		○
28	(株)コーガアイトープ		○
29	(株)神戸製鋼所	○	○
30	新日本空調(株)	○	
31	セイコー・イージーアンドジー(株)	○	○
32	太平電業(株)		○
33	(株)千代田テクノル	○	○
34	(株)東京エネシス	○	○
35	東芝プラントシステム(株)	○	
36	日本エヌ・ユー・エス(株)	○	
37	(株)日本環境調査研究所	○	○
38	日本原子力防護システム(株)	○	○
39	(株)NESI	○	○
40	(株)日立プラントコンストラクション	○	○
41	宝栄工業(株)	○	
42	ポニー工業(株)	○	
43	ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ(株)*	○	
公益・独立行政・研究法人			
44	(公財)核物質管理センター	○	○
45	(一社)原子力安全推進協会	○	
46	原子力規制委員会原子力規制庁	○	○
47	原子力人材育成・確保協議会	○	
48	原子力発電環境整備機構	○	○
49	(一財)電力中央研究所	○	
50	(国研)日本原子力研究開発機構	○	○
51	(一財)発電設備技術検査協会	○	○
52	イーター国際核融合エネルギー機構日本国内機関	○	
53	(公財)日本アイトープ協会	○	
		45	36

3. 原子力産業セミナー2021の主な特徴と来場学生のプロフィール

東京・大阪の両会場に来場した学生のプロフィールは以下の通り。

- ・ 会員企業のニーズを踏まえ、理系学生を中心に集客を行ったため、東京・大阪会場の理系比率は87%（昨年度は91%）となった。また留学生は1名の参加（東京）。
- ・ 女子学生の割合は19%で、昨年度（16%）から微増。

暦年での学生の専攻（人数）の推移は以下の通り。



*学科の大括り化のため、原子力系の一部は電気・電子系としてカウントされている。

*2019年度の原子力・エネルギー系の減少は、試験期間との重複による原子力系学科生の参加減少、電気・電子系の減少は同様の理由による国立高等専門学校学生の参加減少が原因。

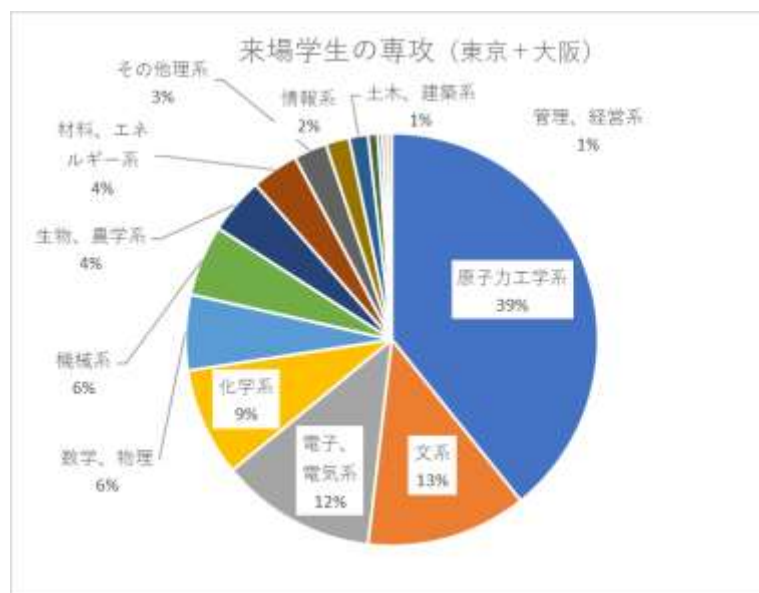
4. 来場した学生の所属校（グラフは3名以上の参加校のみ）

東京、大阪の両会場には65の大学等から255名の学生が来場した。最多は東京都市大、次いで東海大学、近畿大学、福井大学、福井工業大学、京都大学だった。



5. 学生の専攻

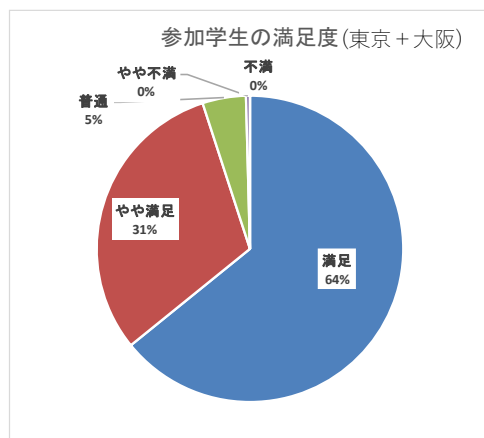
東京・大阪会場に来場した学生の専攻の割合は以下の通り。



*学科の大括り化のため、原子力系の一部は電気・電子系としてカウントされている。

6. 来場学生の満足度

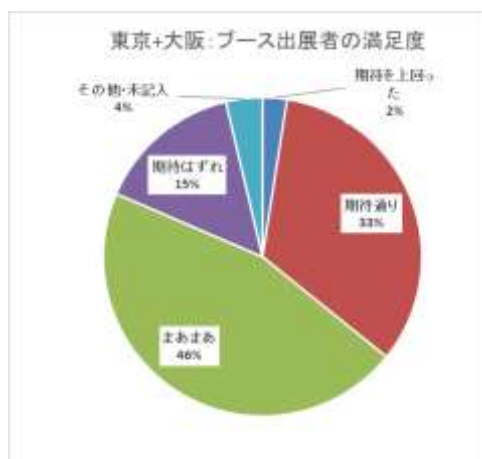
来場学生の満足度は昨年度に引き続き高くなっている。東京と大阪の合計では「満足」64%、「やや満足」31%、合わせると95%となっている（昨年度も95%）。



7. 出展企業の満足度

出展企業・団体の満足度（東京+大阪会場）は以下の通り。

「期待を上回った」が2%（昨年度5%）、「期待通り」33%（昨年度40%）、「まあまあ」46%（昨年度51%）、「期待外れ」15%（昨年度1%）、その他・未記入が4%（昨年度3%）。「まあまあ」以上は81%で、目標の8割を上回った。しかし、学生の来場者数が昨年より大幅に少なかったため、昨年度より上位評価が少なく、「期待はずれ」が大幅に増加した。



8. 参加学生の主な感想

(東京会場)

- ・45社にもおよぶ原子力専門の企業の方々と話したり会社の事業を知ることによって、新たに多様な分野の仕事が知れたのでよかったです。
- ・各企業の業務内容のほか、産業全体について理解を深めるきっかけとなりました。午後の部がフリータイムであったので多くの企業ブースをまわることができました。(逆に「後半の時間区分の撤廃はやめた方がいい」との意見もあり)
- ・自分の興味にバッチリな説明会で良かった。
- ・業界の様々なブースを見ることで、自分の将来をさらに広い視野で考えることができるようになりました。セミナーの開催時期はもっと早い方が良いと思います。
- ・普段のセミナーに比べて人数が少なかったため、積極的に話しかけることができた。
- ・原子力業界の合同説明会があるのはとてもうれしいです。今後も続けていただければ後輩たちも役に立つと思います。自分も役に立ったと思います。

(大阪会場)

- ・エネルギーについて理解がより深まった。
- ・文系職種について、説明を増やしてくれると嬉しいと思った。
- ・今後の就職活動についてとても参考になり、来て良かったと思いました。
- ・多くの企業の方のお話を1日で聴けて大変有意義な時間を過ごすことができました。様々な企業を聞くことができ、満足しました。
- ・最高の催しです。もっと早く開催して頂けると幸いです。
- ・日程ふやしてほしいです。(各2日など、夏などでも良いので…)
- ・就職活動をもっと早くからしているため、今日知った企業もあるが、この時期に知っても志望度は大きく変わらないと思う。

9. 参加企業・団体の主な感想

(東京会場)

- ・集客数を確保していただきたい。
- ・駅(JR新宿)から遠い。
- ・コロナウイルスの件で外出を取りやめた学生が多く、そのため全体の学生数が減少したのは明らかでしょう。
- ・できるだけ多くの学生に多くの大学から来場してもらえるようにプロモーションしていただきたい。

(大阪会場)

- ・スケジュール方式は、知名度の低い中小企業には、非常に厳しい。学生ファーストでは良いと思うが…。
- ・開催時期が遅い。理系学生の就活時期が早まっている感触です。2～3月だけでなく、授業期間ではありますが10～11月の開催も是非ご検討願います。

10. マスコミの報道ぶり

- ・東京会場ではメディア2社が当日取材を行った(朝日新聞、電気新聞)。
- ・大阪会場には、読売テレビ、電気新聞の2社が取材した。
- ・例年に比べ、メディアの来場者数が少なかった。

11. 写真



ブースで説明を聞く学生の皆さん（東京会場）



大阪会場の全景

以上